

## 2019年度 事業報告

### 1 事業概要

2019年度末の当センターの会員数は、1年間で39人が入会され56人が退会されましたので、結果、17人減って315人となりました。ここ数年の傾向と同様で徐々に減少しています。

この要因の一つとして、現役労働者の雇用延長により60代の加入者が減っていることが考えられます。この結果、現会員は年々加齢することから平均年齢は、昨年の74.1歳より0.5歳上昇し74.6歳となっており、病気・介護等の事由による退会も増えています。

その反面、事業実績は増加しており、派遣事業では約451万円と大きく増加しました。この要因としては、企業が労働者不足を補うために現従事者の勤務時間延長・業務範囲の拡大をされたものではないかということが考えられます。実績からも、派遣事業における会員一人当たりの年間の賃金は約51万円と昨年度と比べ約9万3千円増加しています。

請負事業では、約111万円、会員一人当たりでは約4千円とわずかに増えました。この要因としては、現在、配分金には消費税を含んだ金額（益税分）を支払っていますが、消費税率が上昇したことにより、この益税分も増えたことが考えられます。

こうした中、地域から求められる組織の増強を推進するには、会員数の拡大と現状の地域ニーズにあった新たな事業展開、及び、生涯現役社会を実現するための「高齢者の居場所づくり」・「高齢者の出番づくり」という新たな取り組みの必要性を感じたことからシルバー人材センターの事業等の在り方を見直しました。

このような会員数の拡大、新たな事業展開の調査・研究、現業務等の再考をするため、理事を中心とする常任委員会（安全適正就業委員会、事業普及委員会、会報宣伝委員会、総務委員会）で、それぞれ所管する業務の重点項目を中心に検討し、実施しました。

また、事務的には、利用していただくお客様の利便性などの向上を図るため「市外の方の先払い方式」の実施や、「コンビニエンス支払い」の早期導入を検討しました。

## 2 実施した主な事業

### ○安全適正就業委員会

#### (1) 安全・適正就業の徹底

##### ①安全就業の徹底

「安全はすべてに優先する」を念頭に、ヘルメットや安全帯などの安全装備の使用を徹底するとともに、新たな安全対策、事故防止器具の啓発に努めました。

また、会員の安全を目指し、先進地視察（各務原市）を実施し、各自のヘルメットに緊急連絡先を貼付するを取り入れました。

事故発生後の再発防止策の周知、安全パトロール（1月20日・3月3日実施）などの安全就業も取り組みました。

##### ②適正就業の推進

多くの会員が公平な就業機会が得られるようローテーション化を図りワークシェアリングを進めるとともに、適正就業ガイドラインに沿った請負・派遣事業の説明や有料職業紹介事業も考慮に入れた適正就業の確保に努めました。

#### (2) 交通安全の推進

高齢者による交通事故が増加している中、個々の交通安全に対する意識が高揚するよう啓発活動を実施しました。

#### (3) 健康・衛生管理の徹底

会員の就業中の熱中症対策として、引き続き熱中症見舞金制度に加入しました。また、インフルエンザ対策、健康診断の受診など、会員自身の健康・衛生管理に対する意識啓発に努めました。

### ○事業普及委員会

#### (1) 就業開拓の推進

##### ①就業機会の拡大

高齢者の就業機会の拡大の観点から、愛知県シルバー人材センター連合会が開催する高齢者活躍人材育成確保事業を応援し、多くの方が事業に参加できるよう周知しました。

##### ②普及啓発活動の推進

シルバー事業の理念や事業内容等について、花マルシェ、産業フェスタ、布袋ぶらりん日和でのチラシ配付に加え、シルバーの日の清掃ボランティア（フラワーパーク江南）をするなど、広く市民に高齢者の生きがいと地域ニーズの融合に取り組みました。

### ③福祉・家事援助サービス事業の推進

江南市が実施している、できる限り住み慣れた地元で暮らせるようにする「介護予防・日常生活支援総合事業」に、関係機関とも情報共有を図りながら、この総合事業の中の家事援助サービス事業に引き続き取り組みました。

## (2) 独自事業の推進

### ①襖張り替え等独自事業

会員が独自に創出しました、襖・障子・網戸の張り替えに（就業延人数：590人）に取り組みました。

### ②新たな独自事業の開拓

会員の就労機会を目指し、新たな独自事業を開拓するため、先進地視察（犬山市・豊川市）を実施しました。

それにより、当センターでも会員による手作り作品等の販売を実施したところ好評価が得られました。

## ○会報宣伝委員会

### (1) 会報編集等の実施

会員の活躍ぶり、総会など各会議や催しものの状況・雰囲気などが伝わるよう積極的に取材に取り組み、カラー写真を主に、1年間の活動内容が目で楽しめる会報の作成を目指し、ホームページも手作り作品を掲載するなど充実させました。

さらに、会報宣伝の充実を目指し、先進地視察（犬山市・豊川市）を実施しました。

また、県シルバーによる女性会員拡大を目指す委員会や視察に参加しました。

### (2) アンケート調査の実施

高齢者の就業率の向上を図るため、全会員（325名）を対象に、従来の調査内容を見直して、アンケート調査を実施しました。

また、お客様の満足度の向上に努めるため、任意に選んだ顧客100名を対象に顧客満足度アンケート調査を実施しました。

## ○総務委員会

### (1) 組織体制の充実

#### ①組織、規程等の整備

社会情勢の変化に速やかに対応するため、職員の給与など規程等の見

直しを行いました。

## ②指定管理の受託

会員の自主的な活動を支援するための高齢者生きがい活動センターの施設管理を市から受け、効率的な指定管理運営に努めました。

## (2) 会員の資質向上・福利厚生の充実

会員やシルバー人材センターに対する期待と信頼性を向上させるため、先進地視察（犬山市・豊川市）を実施し、ポイント制の導入に取り組みました。

## (3) 相談事業の実施

市内高齢者の方の「生きがいづくり」の一助として、雇用・就業に伴う様々な相談を常時施設内で行い、アドバイスをしました。

また、当センターに入会を希望される方を対象に、説明会を毎月2回（第2・第4水曜日）と都合のつかない方を対象にした臨時の説明会と合わせて26回開催しました。参加者は延べ76名でした。

## ○配分金検討特別委員会

飛石事故防止用草刈機の導入及び消費税増税に伴い、配分金等を見直しました。